

「関東食育連携プラットフォーム～この指とまれ!～」エントリーシート(関東農政局)

■ 活動紹介

団体名等	一般社団法人大日本水産会		
事業内容	水産業の発展と水産物の安定供給のための各種事業の実施(全国500以上の水産関係企業・団体が会員)水産業の発展の一環として、魚食普及推進を行っている		
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル 8F	ホームページ等	http://www.suisankai.or.jp/
電話番号	03-3585-6684	F A X	03-3582-2337
食育活動 (連携事例を含む)	<p>●小学校おさかな学習会(2016年6200人対象 2017年3900人対象)</p> <p>○おさかなゼミ = さかな、海のプロが、座学で漁業、魚、栄養について説明 悪天候でのマグロ漁動画、カツオ一本釣り動画、カジキのクチバシ等を見せて、さかなに対する興味を持たせてから魚の栄養は健康に良い事を説明 ○カツオの一本釣り体験(模型を使用) 1年生は5-6名で3Kgのカツオ模型を釣り上げる。6年生でも半数は一人で釣り上げられない。 漁師は悪天候でも15秒に一匹程度のスピードで釣り上げ、それを20分程度続ける。その話をする事で、漁師の仕事が大変であることを実感、理解し、魚が食卓に上がるまでの苦労を想像する。体験後、食べ物を無駄にしない様に残さず食べるようになった児童も多く、先生方からも評価が高い。</p> <p>○おさかなタッチプール = 生きた魚に触る、生態や魚に触ったことが無い児童にとっては、異質なプログラムで、最初は恐る恐る触る児童が多いが、プログラムが終わるころには殆んど児童が両手で触れるようになる。 魚に触ったことが無い人間が、スーパーで魚を購入するわけがなく、遊びに見えて非常に重要な切っ掛け作りとなる。</p> <p>不特定多数の児童が集まる小学校で行う事で、水族館などに行ったことが無い児童の視野を拡大させる事にもつながる。初めて魚に触る児童が魚に親近感を持ち、給食で魚が出た際に残さない様に心に決める例も。</p> <p>●栄養士向け料理教室 ●学習会用資料の配布 ●おさかな学習会を行いたい団体と、おさかな学習会を開催可能な講師のマッチング</p>		

食育活動写真



【おさかなゼミ】



【タッチプール】



【料理教室】

活動の効果	漁師の苦労を理解し、残さずに食べるようになった、3割前後の子供が、勉強会前よりも魚を多く食べるようになった 地方で講師がいない団体への講師の紹介や、カツオの模型などの貸し出しを行った
継続への課題	予算 講師不在地域の存在(全国展開を目指している)

■ 連携を希望する取組について

連携を希望する業種等	漁業関係者以外で食育を行う団体・学校給食関係者・栄養士など
取組内容	<p>東京都栄養士会や食育推進団体などとのネットワークづくり 魚食育を行う登録講師の拡大 「おさかな食べようネットワークメールマガジン」(無料、月一回発信)読者の拡大 本会や水産関係団体の開催する魚食普及推進に関するセミナー・シンポジウムへの参加者の拡大 お魚料理教室などの共同開催団体との連携 在日外国人や訪日観光客への魚食教育・水産物へ親しんでもらう活動 魚食育に役立つパンフやリーフの活用</p>